

「付加価値の高い柑橘栽培を目指して」



森下 勇樹 (36歳)
(愛南町)

Uターン

1 就農の動機・理由

祖父や父も農業をされており、愛媛で生まれ愛媛で育ったので、いずれは柑橘を作りたいと思っていた。

前職が自動車関係の工場勤務だったこともあり、空気のきれいな自然の中で働きたいと考え、農業を始めることを決めた。

動噴 1台
選果機 1台
運搬車 2台

2 農業経営の概要

○経営の展開

| 項目 | 就農時の経営 (令和3年) | 現在の経営 (令和5年) | 将来の経営 (令和8年) |
|------|--------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 労働力 | 男1人(本人) | 男1人(本人) | 男1人(本人) |
| 経営耕地 | 樹園地 73a | 樹園地 83a | 樹園地 147a |
| 経営内容 | 甘夏 63a 河内晩柑 10a | 甘夏 63a 河内晩柑 10a 愛媛果試第28号 10a | 甘夏 127a 河内晩柑 10a 愛媛果試第28号 10a |

○農業用施設

農業用倉庫 1棟
雨よけハウス 1棟

○主要農業機械

2tトラック 1台
軽トラック 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県宇和島市
職歴 自動車関係工場勤務
就農研修歴

JA えひめ南 (愛南町次世代ファーマーサポート事業研修)

(H31.4.15~R3.4.14)

就農年月 令和3年5月

(2) 就農時の思い

祖父が長年栽培してきた甘夏の継承と高収益化を目指して愛媛果試第28号の施設栽培にチャレンジしたいと思い、経営をスタートした。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

2年間JAえひめ南で研修を受けて就農したが、就農後に栽培を開始した愛媛果試第28号の管理方法は、愛南農業指導班からも色々と教えてもらっている。

また、愛南地区青年農業者協議会の活動にも参加して、他の会員の技術や経営、新しい情報なども得るようにしている。

(2) 資金の準備

自己資金のほか、愛南町役場に相談して農業次世代投資事業（経営開始型）を受給している。

日本政策金融公庫の青年等就農資金を思い切って借り入れし、令和5年度に新しく倉庫を建てた。雨よけハウスは、補助事業で建設されたものを、JAからリースで借り受けし、費用は同じく青年等就農資金を借り入れている。

(3) 農地・住宅の確保

農地は家の農地の一部と近所の方から借り受けた畑でスタートした。住宅も、就農前と変わらなかったのも、大きな苦労は感じなかった。

(4) その他苦労したこと

雨よけ栽培開始に向け、井戸を掘って水源にすることを考えていましたが、井戸掘りの業者に相談したところ、水が簡単に出る見込みがないことが分かり、井戸の掘削は断念せざるを得なかった。当面、トラックで水を運搬してくる予定。

5 農業経営の特徴

今は、雨よけ栽培する愛媛果試第28号の苗木の管理に力を入れ、勢いよく育つよう、1本1本、大切に枝を支柱に誘引している。

6 これからの夢

愛媛果試第28号のような高単価な品種を取り入れ、小さな面積でも高収入が得られるような効率的なかんきつ経営を目指している。いずれは、現在の面積で従来以上の利益を得ることが可能な農家にステップアップしたいと考えている。

7 成功したキーポイント

まだスタートしたばかりで成功したとは言えないが、自分の強みは、良いと感じたものはどんどん取り入れていくことができる柔軟性だと思う。

8 就農を目指す方へのアドバイス

私の場合、JAでの研修を2年間受けてから就農しました。研修では栽培技術を学びましたが、研修を通じて様々な人の繋がりができたことが、2年間の研修の中で一番の糧になったと感じています。経験の無い方は、いきなり就農するのではなく、研修を受けてから経営をスタートすることをお勧めします。

○ 指導機関からのひとこと

森下さんは、2年間の研修を受け、計画的に就農することができています。愛媛果試第28号の雨よけ栽培も計画どおり開始でき、今後の経営発展に大きく期待しています。

農業も体が資本です。体調管理には十分気を付けてください。

執筆機関

南予地方局地域農業育成室
愛南農業指導班
電話番号 0895-72-0149



普及指導員と苗木圃場で